

参加者アンケート集計結果報告書

【講演】(2008年9月21日実施)

ワンランク上の情報リテラシー教育へ！

ーオリエンテーションと講習会を改善する7つのコツー

講師：仁上幸治

岡山県大学図書館員研修会

委員長/布元めぐみ

総合満足度:4.83点。

まとめ *****
講師の熱意あふれる語りかけや映像がもつ人を引き付ける力・・・講師の講演(=プレゼンテーション)そのものが、よい手本であり、刺激となった。

【1】募集要項 =====

●日時

2008年9月21日(日)14:00-16:30

●会場

岡山県総合グラウンドクラブ 第二研修室 (岡山市いずみ町2-1)

●講師

仁上幸治(早稲田大学図書館)

●対象

岡山県大学図書館員研修会会員および大学図書館関係者 定員20名

●ねらい

大学図書館は、大学生活を送る上で重要不可欠である図書館の利用方法を理解してもらうため、各館が独自の工夫を凝らし図書館オリエンテーションや情報検索の指導を行なっている。

しかし、参加者が集まらない、学生に上手く伝わらない、教員の協力を得られない等、様々な問題を抱えているのが現状である。

この研修会で自館の取り組みの問題点を見つけ、次へつながる改善の手がかりとしたい。

また、まだ取り組んでいない図書館にとっては、

こういった活動を始めるきっかけになればよいと思う。

●概要

授業や講習会、図書館オリエンテーションを、テレビ番組や各種イベントと比較対照してみると、視聴者として目の肥えた新入生に対して、飽きない、楽しめる、そしてためになるようなプログラムを提供するには、「エデュテインメント」という教育と娯楽の融合の視点が必要不可欠であることがわかる。

オリエンテーションの企画段階では、1)驚かす、2)対話形式、3)旬の話題、4)ワクワク感、の4つのコンセプトが重要である。これらを実現するためには構成・演出の段階で、1)意外性のあるイントロ、2)対話によるツカミ、3)違いの印象づけに絞る、4)個人尊重の気配り、5)直感的に理解できる例題、6)グローバルネットワークの驚き、7)マナー指導は控えめに、8)期待感を膨らませる予告編、9)ワクワク感で終わる、の9つのポイントを意識的に工夫することが必要になる。その結果、会場、準備、服装、イントロ、マイク、スクリーン、スライド、配付資料、説明、例題など、プレゼンテーション技法に付随する具体的な改善課題が明らかとなる。教職や司書職の専門性の研鑽と対外的訴求のためには、プレゼ

ンテーションの改善への取り組みが必須となっている。本研修会では、新入生オリエンテーションや情報検索講習会の事例をもとに、教育的効果を高めるためのプレゼンテーションの構成・演出から、スライドショーのビジュアルまで、改善ノウハウを徹底伝授します。

- 第1部 驚きを演出するオリエンテーション
 (1) オリエンテーションのポイント
 (2) プレゼンテーションのポイント
 第2部 目からウロコの情報検索指導
 (1) 例題改善のための13の提案
 (2) 例題の良し悪しの比較対象

●内容

【2】参加者データ =====

1) 職種

大学図書館員	大学職員	元大学図書館員
12	1	1

2) 性別

男性	女性
4	10

参加者 14

回答者 12

数値有効 12

【3】成果概要 =====

★事務局が主催者側からの成果と反省点を箇条書きでメモとして書く

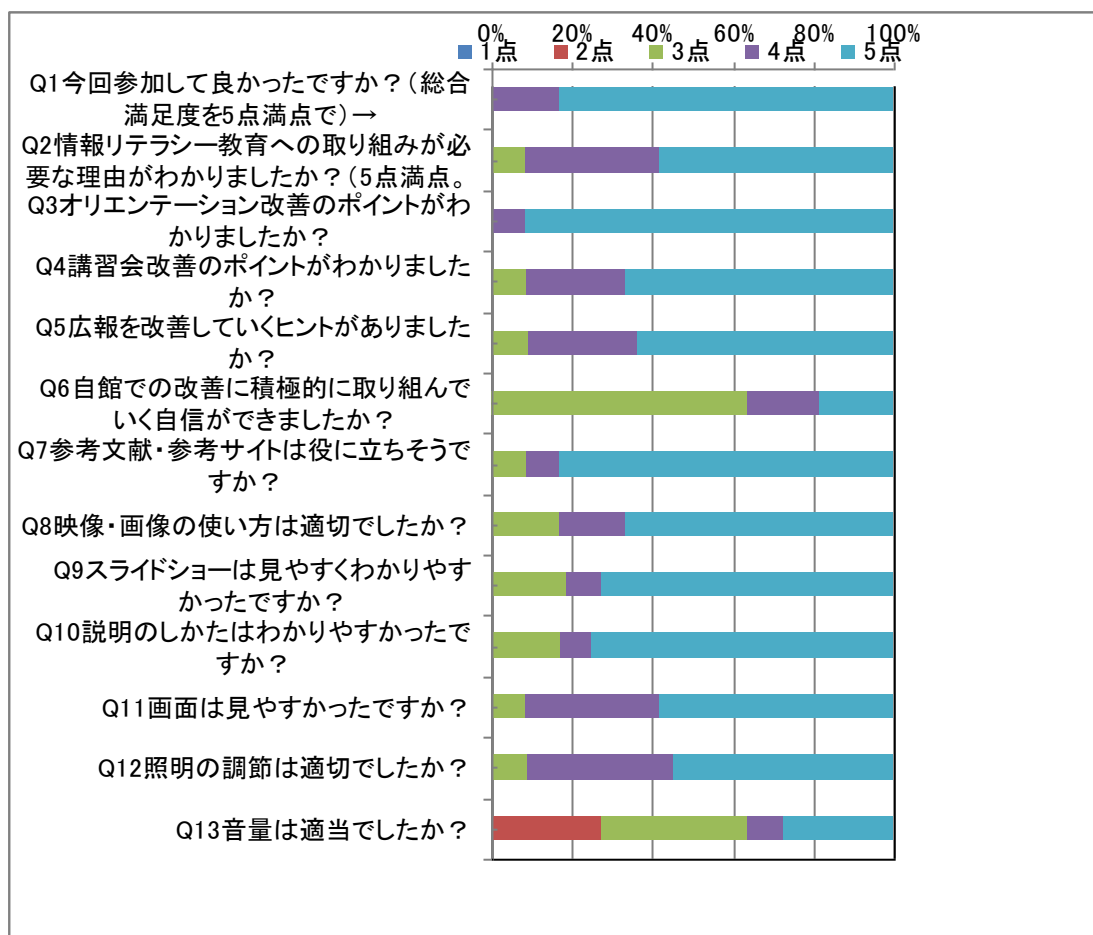
- 1) 参加者は、自館のオリエンテーションやガイダンスと比較しながら聴講し、自館の問題点を把握することができた。
- 2) オリエンテーションの未実施館では、実施へ向けての動機付けとなった。
- 3) また、未実施館では、実施する際に注意すべきポイントを明確に把握することができた。
- 4) 自分自身が目の肥えた受信者であることを十分に活かしてプレゼンテーションを行うことの重要性を感じた。
- 5) 視覚から入る情報のインパクトの強さを実感
- 6) 情報の新しさ、例題選択の大切さを痛感
- 7) 配付資料の参考文献の多さに脱帽
- 8) 全ては準備不足
- 9) もっと詳しく聞きたい部分等の絞込みをしたかった
- 10) 時間があれば、それぞれの館で行っているオリエンテーション等のパワーポイントを、みなで評価しあったりもできたか。

【4】評価： 総合満足度:4.83点 =====

表1. 5段階評価結果

設問	1点	2点	3点	4点	5点	平均
Q1 今回参加して良かったですか？(総合満足度を5点満点で)→	0	0	0	2	10	4.83
Q2 情報リテラシー教育への取り組みが必要な理由がわかりましたか？(5点満点。以下同)	0	0	1	4	7	4.50
Q3 オリエンテーション改善のポイントがわかりましたか？	0	0	0	1	11	4.92
Q4 講習会改善のポイントがわかりましたか？	0	0	1	3	8	4.58
Q5 広報を改善していくヒントがありましたか？	0	0	1	3	7	4.55
Q6 自館での改善に積極的に取り組んでいく自信ができましたか？	0	0	7	2	2	3.55
Q7 参考文献・参考サイトは役に立ちそうですか？	0	0	1	1	10	4.75
Q8 映像・画像の使い方は適切でしたか？	0	0	2	2	8	4.50
Q9 スライドショーは見やすくわかりやすかったですか？	0	0	2	1	8	4.55
Q10 説明のしかたはわかりやすかったですか？	0	0	2	1	9	4.58
Q11 画面は見やすかったですか？	0	0	1	4	7	4.50
Q12 照明の調節は適切でしたか？	0	0	1	4	6	4.45
Q13 音量は適切でしたか？	0	3	4	1	3	3.36

図1. 5段階評価結果グラフ



【5】記述内容 *メール提出の原文のまま。=====

Q1. 印象を一言で

総合満足度5点

- ・引き込まれました。
- ・現職時代に参加したかったです。
- ・発想が若い
- ・お話のテンポとリズムが心地よかったです。
- ・映像から伝わるものの絶大さを感じました。
- ・オリエンテーションはコミュニケーション
- ・斬新！センス良し！初心に返りました

- ・今まで体験したことないプレゼンでビックリ
- ・まさにエデュテインメントでした
- ・何度受けても新鮮。新たな気づきがある。

総合満足度4点

- ・検索の技法を生かした講義で面白かった。
- ・時間が足りなかった

Q14. もっと詳しく聞きたかった点はどういう点ですか？(200字以内)

総合満足度5点

- ・図書館と大学との連携について
- ・時間が短すぎたので、聞きたいことだらけでした。
- ・とにかく注目させる方法。オリエンテーションをしても、掲示をしても、コーナーを作っても、学生の注目度は低い。入館者が「あ！」と声を出すような、展示や、伝えたいことが伝わる掲示、拍手のおこるオリエンテーションができれば。
- ・企画の重要性ということについて：企画は職員だけで済みますか。学生スタッフなども参加しますか。質問の理由：受講者の視点をどう取り入れるかもポイントかなあとと思っているからです。
- ・講義中における学生の目線と学生の興味は、どこにありますか？学生同士のロコミや呼びかけでもオリエンテーションが広まることはあると思いますが、その際の留意点。関心が薄い教員にどうやったら図書館への関心を持って貰えるか。
- ・検索の例題をもう少し聞きたかった。マディソン郡の橋はとてもわかりやすかった。早く簡

単に検索することはとても大事なことなので。日々業務で実感します。

- ・「オリエンテーション実施前後で学生との距離は変わりますか？」「どのようにしてセンス磨きや学生が興味をもちそうな事へのアンテナを張られているのですか？」
- ・広報の部分についてももう少し詳しくお伺いたかったです。
- ・情報検索指導について。
- ・時間が足りずダイジェスト版だった印象。すべての内容をワイド版でゆっくり聞いてみたかったです。情報収集の感性の磨き方。ブレない着眼点の見つけ方。(自己研鑽あるのみでしょうか)

総合満足度4点

- ・早稲田大学での様子を実際に撮ったビデオなどがあれば、見てみたかったです。やっていない館で、どうやったらスムーズに始められるか。図書館報や高校生へのアピールなど、実務的な広報等についても聞きたかった。
- ・どの時点でどの程度のレベルのガイダンスをすればよいか。

Q15. 講師へのご意見ご要望など

総合満足度5点

- ・人の目を見てお話しをされていることが、すごく伝わりました。プレゼンの仕方について、個人的に勉強してみたいと思いました。
- ・考え方、発想の若さを感じました。知らず知らずのうちに、自分が年齢だけでなく、精神的

にも年をとったような気がしました。情報のアンテナをもう少し、広げようと思いました。そのことに気づかせていただき、感謝しています。

- ・サービスの仕事は、利用者から学ぶこと教わることが多いです。ガイダンス中の受講者の反

応などは、企画立案のヒントや鍵になります。自分が喋ることに一生懸命ですが、気持ちにゆとりをもって、それらが読み取れるようになってゆきたいと思っています。（講師へのご意見、要望ではありませんね、すみません）

・ありがとうございました。少し難しかった部分もありましたが、楽しかったです。

・参考になる話が聞けてとても良かったです。もっとたくさんの図書館職員にも聞いてほしいと思いました。

・オリエンテーションを1回通して拝見したかったです。内容が盛りだくさんで私自身まだ消化しきれていません・・・

・まさに目からウロコ！の話をいろいろとお伺いできて勉強になりました。ありがとうございました

ます。もう3時間ぐらい講演してほしいです（贅沢言うな！ですね）

・もっと岡山(近辺)に来てください！もっといろいろなお話を聞く機会がたくさんあるとよいです。

・準備不足で、ご迷惑をおかけしました。『準備：×ギリギリ→○余裕』を痛感。せつかくの講義を集中して受けることができず、残念でした。

総合満足度4点

・お忙しい中、ありがとうございました。旅のお疲れは取れましたでしょうか。

・話される速度が若干速かったのかマイクがなかったせいなのか、ちょっと聞き取りにくかったです。

Q16. 講演会の準備や運営へのご意見ご要望など

総合満足度5点

・特になし。

・準備に不手際があり、申し訳ありませんでした。

・講演会の運営は大変だと思います。これからも役に立つ講演をよろしくお願いします。

・会場ではマイクなしでお話していただいて、かえってご迷惑をおかけしました。参加者としては大変よかったです。

・マイク無しで長時間講演していただき、こちら側としては申し訳なかったです。

・事務局として、準備不足であったことを心よりお詫びします。次こそは万全の体制で！！

・急遽決まったとはいえ、準備不足が露呈した結果に。講師の負担が大きくなってしまったと思います。次回はそのようなことがないようにお願いします(主に自分)

総合満足度4点

・お疲れ様でした。イヤホンから出力するタイプのスピーカーでしたら、言って頂ければ持って行きましたよ。

・マイクがなかったのが残念です。機器類は相性があったりして、なかなか当日始まる前の準備だと大変だと思います。

Q17. 今後の研修会・講演会等のテーマについてのご意見・ご要望などをご自由にどうぞ。

総合満足度5点

・専門の講師をお迎えして、お話しをしていただき、今日のような研修会を、また開いていただけたらと思います。

・学生の目をひく広報、教員へのオリエンテーションの方法等についてもお話を聞きたいです。

・図書館員は、人前で話すことが多くなりました。「話す」ということについて考えたり、実演してアドバイスしあったりする研修会がで

きたらいいと思います。

・パスファインダー、ですよね。

・広報活動の内容も受けてみたいです。

総合満足度4点

・研修会は、最近、講演会ばかりやられている気がします。昔のように実技講習会や調査・研究などはやらないのでしょうか。

・企画について（特に地域向け）

【6】講師から =====

- ◎早稲田大学所沢図書館 : <http://wul.waseda.ac.jp/human/index-j.html>
- ◎仁上幸治ホームページ : <http://www.dcms.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/>
- ◎図書館サービス計画研究所 (略称「トサケン」) : <http://tosaken.blogspot.com/>
- ◎『情報の達人』ホームページ : <http://www.kinokuniya.co.jp> [左メニュー下方の入口]

最後にもう一度。めざそう、たのもしい・めざましい・すばらしい・りてらしい司書！ (^^)y

(200X. X. X/仁上幸治/にかみ・こうじ/nikamikoji@yahoo.co.jp)

【7】事務局から =====

この講演会は、岡山県大学図書館員研修会の研修事業です。講演会を開催しませんか、と急な話が飛び込んできました。委員の中でも準備不足を心配し、できるものかどうか迷いましたが、せっかくのチャンスなので、とりあえず乗ってみることにしました。そのため委員の打ち合わせ時間も無く、ドタバタと開催に至り、準備不足で仁上講師をはじめとして参加してくださった皆様方にもご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

しかし、皆様の中に、この講演会でなんらかのヒントが見つかり、改善に繋がったならば開催の意義は大きかったと言えるでしょう。効果があつた大学の方、または変更予定の大学の方も、ぜひ事務局までご報告ください。

以上■□■(2008.10.8/布元めぐみ/nuno7412@gmail.com)